

安全データシート

作成日：2020年03月24日

改定日：2020年07月29日

1. 製品及び会社情報

製品名：SYK アルコール除菌剤

会社名：鈴木油脂工業株式会社
住所：大阪府大阪市東淀川区下新庄 1-8-23
電話番号：06-6326-1118
FAX 番号：06-6326-0181
緊急連絡先：化成品事業部
電話番号：06-6326-1118
推奨用途及び使用上の制限：除菌

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

【健康に対する有害性】

引火性液体	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2 B
生殖毒性	区分 1 A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（肝臓）
	区分 2（神経）

※記載の危険有害性は、分類対象外か分類できない。

【絵表示又はシンボル】



注意喚起
危険有害情報

危険

引火性の高い液体及び液体
眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気またはめまいのおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による臓器（肝臓）の障害
長期にわたる又は反復ばく露による臓器（神経）の障害のおそれ

注意書き

【予防策】

使用前に SDS を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
容器を密閉しておくこと。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
保護手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。
容器及び受器を接地すること。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。
火災を発生しない工具を使用すること。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。

【対応】

火災の場合： 消火に適切な手段を使用すること。
皮膚（又は毛）にかかった場合： 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。取り扱った後、手を洗うこと。
ばく露又はばく露の懸念がある場合： 医師の診断／手当てを受けること。
吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。容器を密閉して換気の良いところで保管する。

【廃棄】

内容物や容器は、都道府県・市町村の規則に従って廃棄するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号	
				(化審法)	(安衛法)
エタノール	64-17-5	63～68wt% (70vol%以上)	—	—	—
水	7732-18-5	—	H ₂ O	—	—
安息香酸デナトニウム	—	—	—	—	—
プロピレングリコール	57-55-6	—	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。水でうがいをすること。
皮膚に付着した場合： 多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合： 多量の水を飲ませ、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
応急措置をする者の保護： 特に必要としない。

5. 火災時の措置

消化剤 耐アルコール性泡消火剤、水、粉末消火剤、炭酸ガス
危険有害性： 加熱により容器が爆発するおそれがある。
極めて燃えやすく、熱、火花、火炎で容易に発火する。
消火後に再び発火する可能性がある。
火災時に刺激性。腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
消火方法： 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤の内、散水以外の適切な消火剤を利用すること。散水以外の消火剤で消火効果のない大きな火災の場合には散水する。危険でなければ、火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護	消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マクス等）を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項：	作業の際は、適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やミストの吸入を避けること。
環境に対する注意事項：	流出した製品が河川等へ排出され、環境へ影響を起ささないよう措置を講じること。
封じ込め及び浄化方法・機材：	こぼれたものはウエス等に吸収させるか、極力かき集めて密閉容器に回収する。残りは大量の水で洗い流すこと。
二次災害の防止策：	特に必要としない。
7. 取り扱い及び保管上の注意	
取り扱い	
取り扱い技術的対策：	適切な保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用する。
局所排気・全体換気：	局所排気、全体換気を行う。
安全な取扱い上の注意事項：	皮膚、眼との接触を避ける。吸入又は飲み込んではいならない。取扱い後はよく手を洗う。
保管	
保管条件：	容器を密閉して冷所で換気の良いところで貯蔵する。
8. ばく露防止及び保護措置	
エタノール	
管理濃度：	未設定
許容濃度	
日本産業衛生学会：	未設定
ACGIH(TLV-STEL)：	1000ppm
設備対策：	火気のない換気よい場所で取り扱う。
呼吸器の保護具：	適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具：	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具：	適切な保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策：	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
9. 物理的及び化学的性質	
物理的状態・形状・色など：	透明色液体
臭い：	芳香臭
pH：	データなし
沸点／初留点	78.5℃
融点／凝固点：	-114.1℃
発火点：	363℃
爆発限界	上限 19vol% 下限 3.3vol%
比重：	0.85～0.95 (15℃)
溶解性：	水、ジエチルエーテルに溶解
オクタノール／水分配係数 (log Pow)：	0.32
分解温度：	データなし
蒸発速度：	データなし
粘度：	データなし
10. 安定性及び反応性	
安定性：	通常の使用条件で安定
反応性：	データなし
避けるべき条件：	高温、直射日光、熱、炎、火花、静電気
避けるべき材料：	酸化剤
危険有害分解生成物：	一酸化炭素、二酸化炭素

1 1. 有害性情報	
急性毒性 :	
エタノール	経口 ラット LD ₅₀ 6200mg/kg

1 2. 境影響情報	
魚毒性 :	データなし
生態毒性 :	データなし

1 3. 廃棄上の注意	
残余廃棄物 :	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装材料 :	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合も都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意	
国際輸送分類	
国連番号 :	1170
国連分類 :	3
容器等級 :	II
国内規制	
陸上輸送 :	消防法の規定に従う。
海上輸送 :	船舶安全法に従う。
航空輸送 :	航空法の規定に従う。

1 5. 適応法令	
労働安全衛生法 :	
エタノール	第 57 条の 2 名称を通知すべき有害物質
消防法 :	危険物 第 4 類アルコール類 (水溶性)
毒物及び劇物取締法 :	非該当

1 6. その他の情報	
責任の限定について	
本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途及び使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。	